

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 33 週（ 2025/8/11～8/17 ）感染症発生動向調査速報値（ 2025/8/20 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **156** 人、定点医療機関当たり **3.63** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科26定点、内科17定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

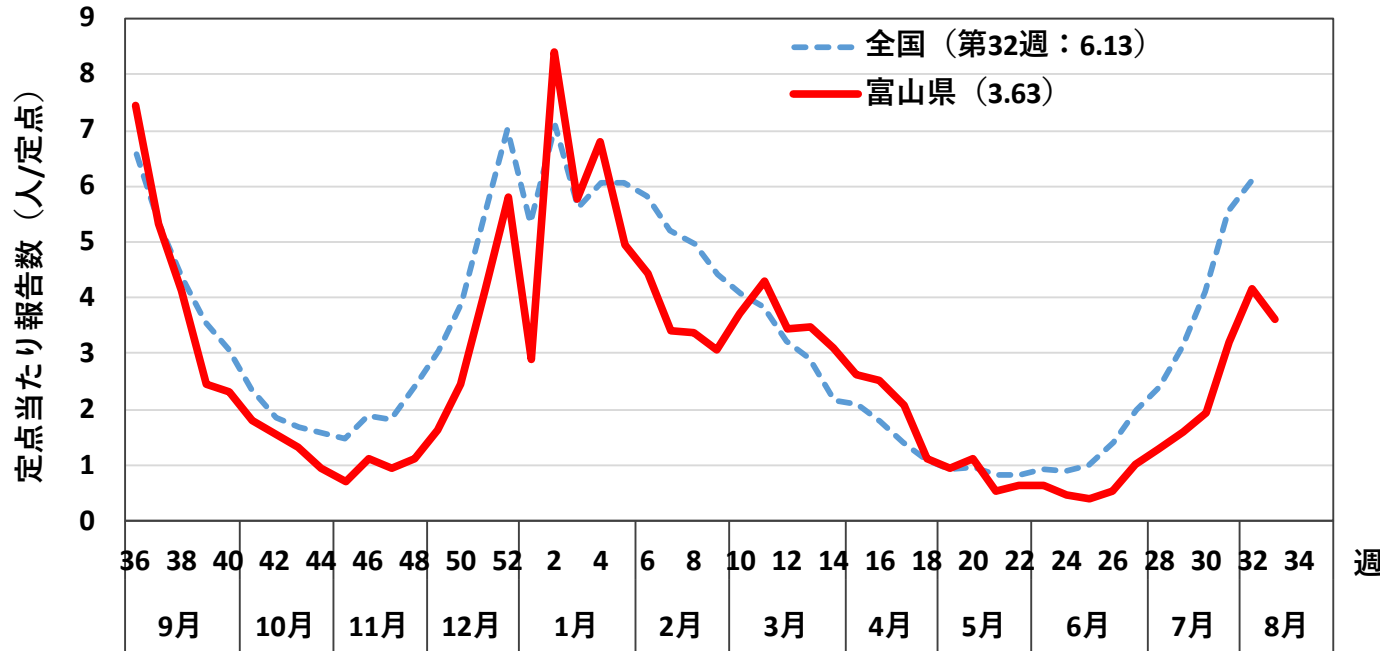
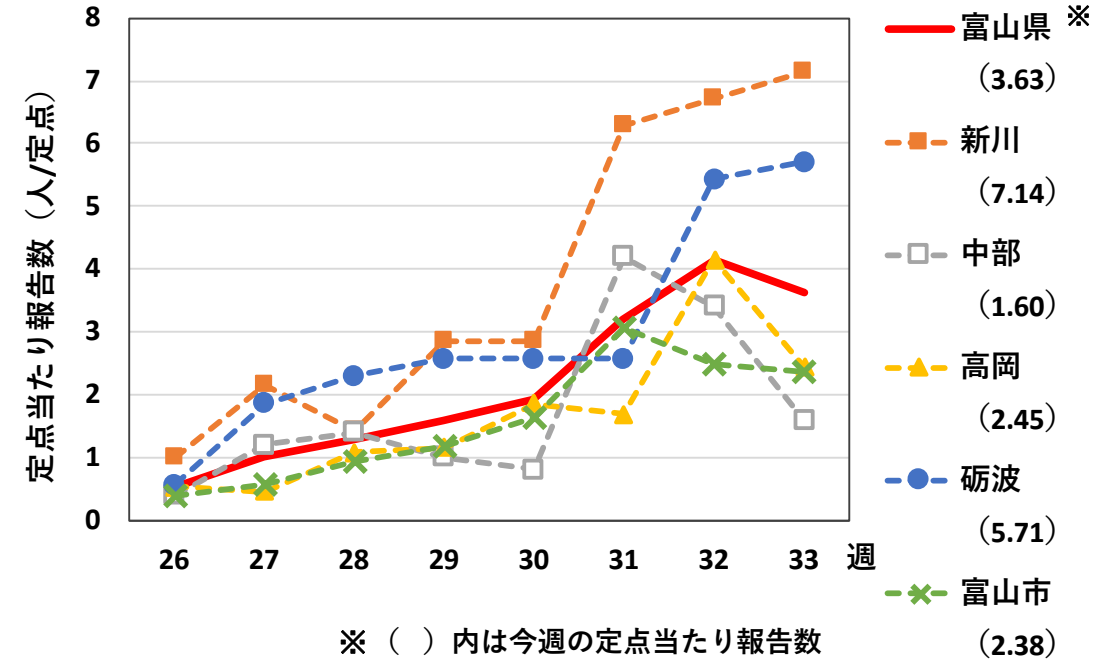


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 富山県の患者報告数は今週3.63人/定点となり、先週（4.15人/定点）から減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、中部、高岡管内で先週から減少した一方、新川、砺波管内で先週からやや増加した（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

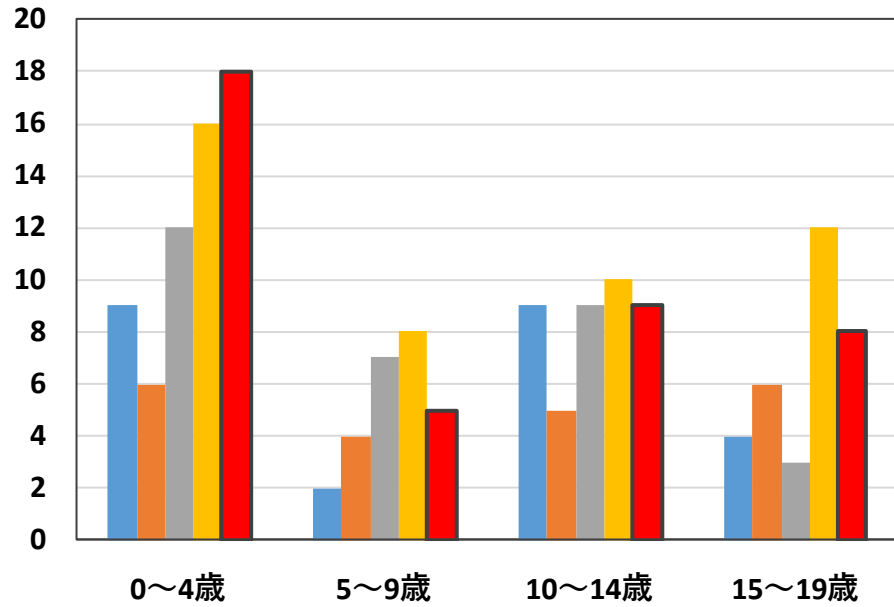
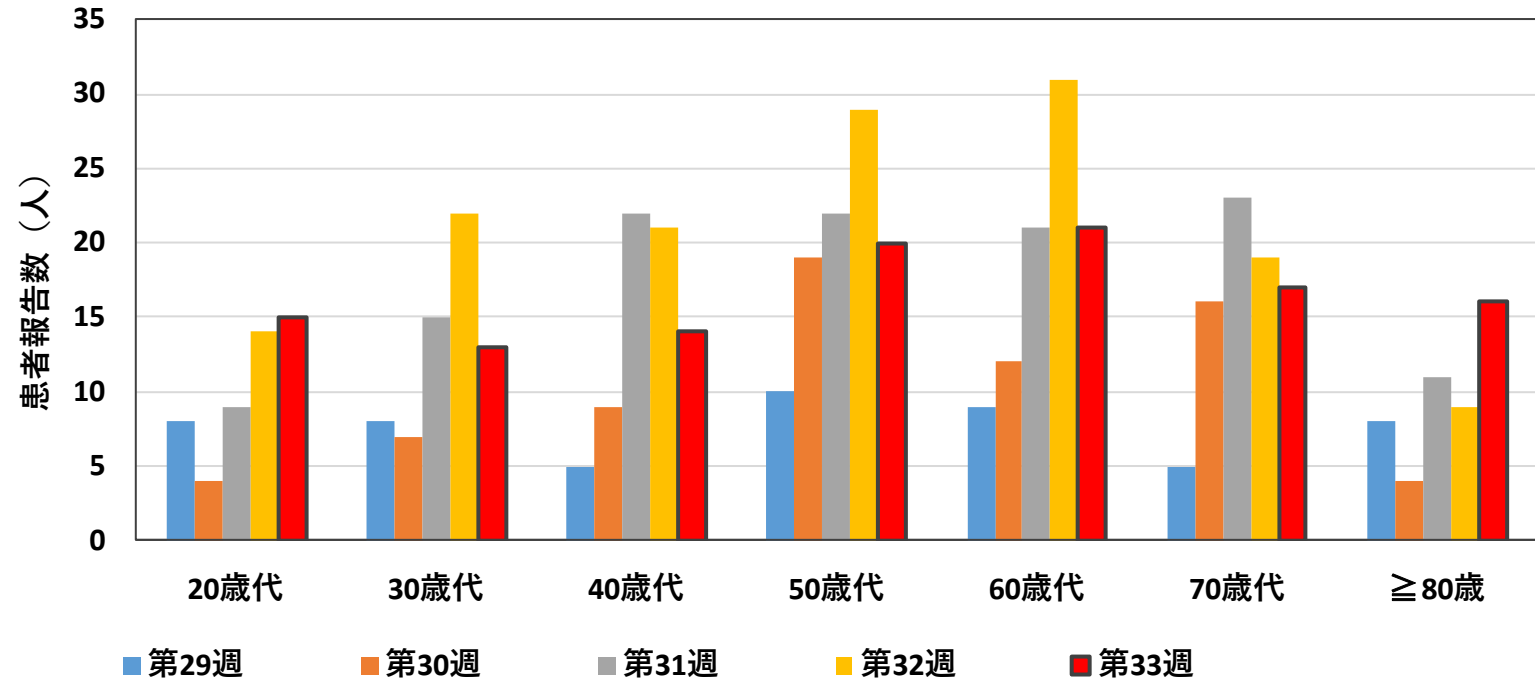


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：26定点、内科：17定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～4歳、20歳代、80歳以上で先週から増加した一方、その他の年代で先週から減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

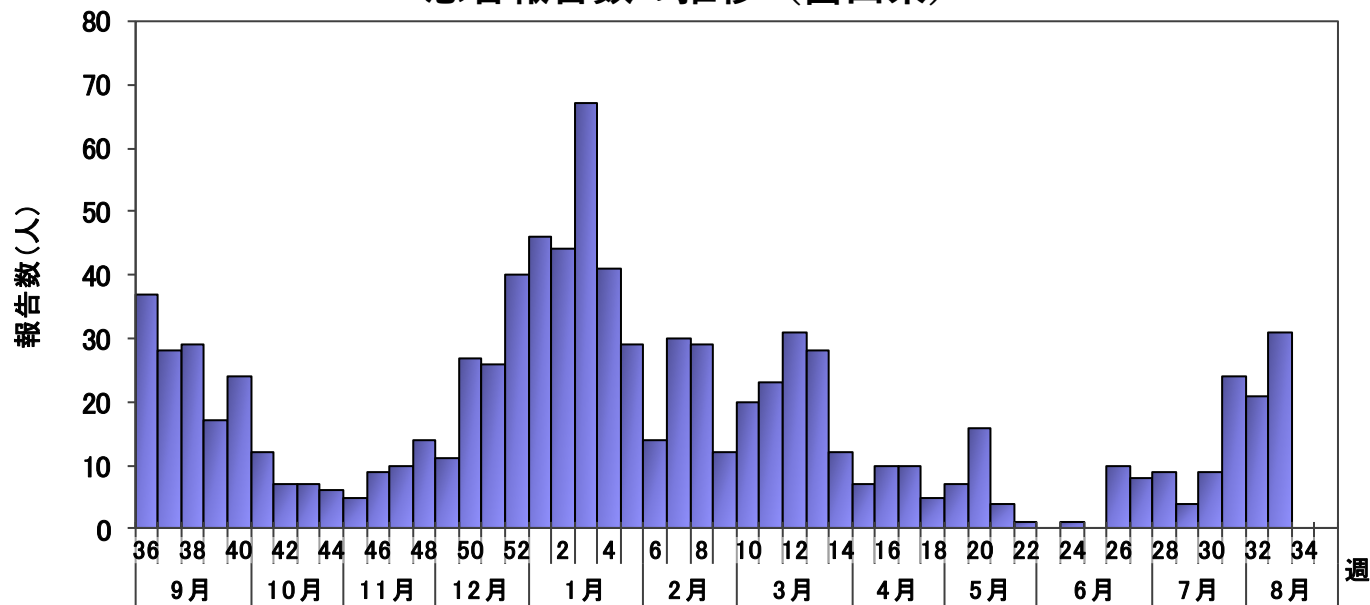
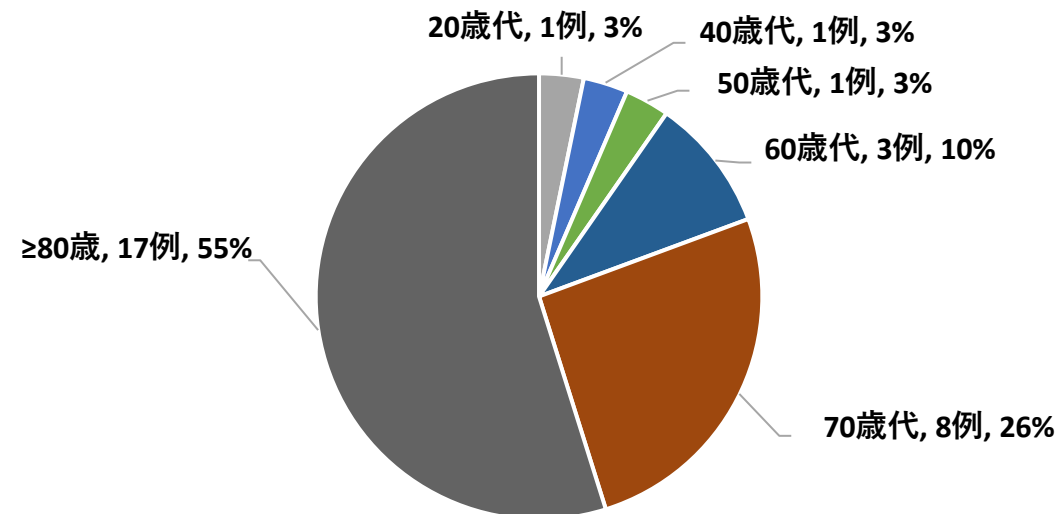


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第33週、31例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第33週に31例の入院報告があり、先週（21例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、20歳代、40歳代、50歳代が各1例、60歳代が3例、70歳代が8例、80歳以上が17例であった。70歳以上が81%を占めた（図5）。
- 県内のCOVID-19の患者報告数は、今週減少に転じたものの、お盆期間の休診の影響で流行を過小評価している可能性がある。一方で入院患者の報告数は増加しており、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。